

建築都市学部建築学科出前講義 開催報告

はじめに

令和5年12月19日(火)、1時限目の授業(9:00～10:40)で建築都市学部建築学科の学生を対象に、東海大学湘南キャンパスで出前講義を行いました。昨年と同様に対面方式の講義で、112名が参加しました。

受講者の1年生に対して、進路を早い段階から意識してもらうことを主眼とし、望星技術士会と川本工業㈱の共催という形で建設業界の仕組みや仕事内容を中心に講義をさせていただきました。

併せて、技術士や一級建築士等、建設業で必要となる資格についての説明の時間を設けました。講師は永井の他に、建築設備に関する施工管理の実務経験が豊富な、川本工業㈱の高橋氏(東海大学OB)が担当しました。



写真1 講義を行った19号館

講義内容

まず渡部先生に趣旨説明をしていただきました。講義では、建設業の仕事内容について、営業、設計、施工管理の各業務に関する話をしてから、建設業のやりがいや実態について説明しました。また、ゼネコンや設計事務所の各種ランキング、業務を通じた各社の印象など、生々しい話もさせていただきました。

プロの専門家としての経験や知識を活かしたリアルな体験談に触れ、学生の皆さんが自分の将来について、考えるきっかけになったのではないかと自負しています。

建築学科の学生は、8割以上が建物のデザイ

永井 和典

(ながい かずのり)

工学部建築学科 1984 年卒

技術士(衛生工学部門)

川本工業株式会社



ン(設計)を志望して建築学科を選んだと聞いています。そのため、設計業務の解説にも重点をおきましたが、幅広い分野に目を向けてもらえたと感じています。また、実際の施工管理に関する話も参考になったことと思います。



写真2 講義風景

建設業(建築系)では、一級建築士の資格が重要視されていますが、より高い次元での仕事に携わるためには、技術士の資格が不可欠となります。また、在学中に技術士一次試験に合格することにより、就職活動で自分の能力や向上心を、客観的な評価としてアピールすることが可能となります。今回の講義を通じて、技術士資格に興味を持ってもらえたことは、望星技術士会の学生向け普及活動として、とても意義があったと感じています。

講義を終えて

学生の皆さんの真剣な受講姿勢に触れ、講師としても身の引き締まる思いでした。さらなる飛躍のためにも、在学中に技術士一次試験に挑戦していただきたいと願っています。

最後になりますが、今回の講義に際してご理解とご協力をいただいたすべての皆様に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。